

# ヨコスカに原子力空母はイライナイ! R・レーガン横須賀配備抗議!母港撤回を求める10.1全国集会



集会のもよう、左から佐藤治氏、中条貴仁氏、藤本泰成氏、福田護氏

**敵基地攻撃論で東アジアの平和は守れない!**

「基地はいらぬ! 原子力空母は横須賀に  
来るな!」をスローガンに十月一日(土)、  
横須賀ヴェルニー公園で「原子力空母ロ  
ナルド・レーガン横須賀配備抗議・母港撤  
回を求める全国集会」が開催されました。  
主催は神奈川県平和運動センター・三浦半島  
地区労。司会は佐藤治氏(三浦半島地区労  
センター議長)。現地報告は厚木基地爆音  
訴訟期成同盟 石郷忠男委員長、非核市民  
運動ヨコスカ平和船団 新倉裕史氏。

**岸田政権の改憲発議許さない!  
大切なのは専守防衛・平和憲法  
平和と外交だ!**

主催者を代表して福田護氏は「今年で四  
九周年を迎えるが十二月にも国家安全保  
障戦略・防衛大綱の改正が行われようとし  
ている。そして防衛費の増大、自衛隊の強  
化・軍事化・攻撃化が進んでいる。敵基地  
攻撃能力でいえば台湾有事に備えると言  
いながら攻撃的発言が目立つが、それはミ  
サイルで相手領土にある基地を攻撃する  
ということ、まさに戦争状態。米中が戦  
争になれば最前線に日本・沖縄が巻き込ま  
れることになり、絶対に許してはならな  
い」など警鐘を鳴らしました。

また中央団体を代表して挨拶した藤本泰  
成氏は「横須賀がミッドウエーで母港化さ  
れて来年で五十年、日本政府が認めてから  
半世紀になる。未だに横須賀は世界で唯一  
の原子力空母の母港にあり続けている。し  
かし東アジアの平和は米軍によってもた  
らされているのではなく、米軍によって日  
本が守られているなんてあり得ない。専守  
防衛を基本にしてきた日本の防衛政策を  
一変させたのは安倍政権。秘密保護法、盗  
聴法、安保関連法、そして岸田政権になっ  
て防衛費の増大など明らか」と訴えまし  
た。平和センター関東ブロック連絡会議代  
表の中条貴仁氏からも挨拶を受けました。



主催者を代表してあいさつする福田護 神奈川県平和運動センター代表



左から中条貴仁氏、佐藤治氏、藤本泰成氏



# 10.1 ロナルド・レーガン 横須賀配備抗議！



現地報告する石郷岡忠男氏



現地報告する新倉裕史氏

## R・レーガン横須賀配備撤回！

集会アピールは飯島典子さん。「改めて原子力空母ロナルド・レーガンの母港撤回、『安保関連法』の廃止、『敵基地攻撃能力』などの自衛隊強化反対を確認し『戦争推進政策』に断固、立ち向かいましょう」と提起し、確認されました。



米軍横須賀基地ゲート前で怒りのシュプレヒコールを挙げる

米 参加者はヴェルニー公園から米軍横須賀基地ゲート前へ横須賀市役所前までの約2キロをデモ行進し、「原子力空母横須賀母港化撤回」「オスプレイの配備撤回」「岸田政権の改憲発議、軍備拡張路線反対」「敵基地攻撃力保有、絶対反対」などシュプレヒコールで氣勢を上げ、市民に訴えました。

参加団体は四〇団体、参加者は四五〇名。私たちは今後も安全・安心な神奈川を守るために県民との絆を大切に、「原子力空母横須賀母港化反対！」という立場で、更に平和運動を強化していきます。



左は集会参加者、右は集会シュプレヒコール・抗議ボードで政府の政策に怒りを表した